

地域医療連携センターだより



兵庫県立丹波医療センター

〒669-3495 兵庫県丹波市氷上町石生 2002 番地 7

TEL : 0795-88-5200 (代表)

Vol.6

発行

令和2年11月1日

新型コロナウイルス感染症に対する 外科系診療の取り組み



副院長

藤田 恒憲

新型コロナウイルス感染症（以下 COVID-19）が阪神間で流行し始めた頃より、丹波医療圏域でも COVID-19 の増加が予想されたため、当センターも COVID-19 患者さんへの手術対策を立てる必要がありました。

COVID-19 の流行とともに外科系各学会で COVID-19 患者さんの手術指針が発表され、緊急性のある疾患は十分な COVID-19 対策を行いながら手術を継続し、緊急性のない疾患は可能な限り手術を延期するというものでした。一方、COVID-19 の PCR 検査が簡単に実施できる体制ではなかったため、手術全例に PCR 検査を実施することもできず、いかにして PCR 検査が必要な患者さんを振り分けるかが問題でした。最終的に当圏域では COVID-19 の発生が非常に少なかったため、入院前問診表で濃厚接触歴や COVID-19 を疑う症状の有無をチェックし、COVID-19 疑いの患者さんには術前胸部 CT を施行し、COVID-19 を疑う所見があれば PCR 検査を行う方針としました。現在もその方針で継続しています。しかし、例外的にエアゾール発生リスクの高い耳鼻咽喉科の鼻・咽頭領域の手術は全例に PCR 検査を実施しています。

また、COVID-19 患者さんの手術に対応できるように陰圧手術室の使用、手術時の排煙装置購入、気管内挿管及び抜管時のエアゾール対応といった機器類の整備だけでなく、手術実施運用のマニュアルも作成しましたが、幸いなことに現在まで COVID-19 患者さんの手術実施はありません。

第 2 波はやや落ち着きを取り戻していますが、今後冬に向けてインフルエンザ感染症と COVID-19 の鑑別が困難な時期が到来します。第 3 波の到来の可能性もあり、さらに厳しい対応も予想されます。そのような状況になっても、当センターは安全で、安心して手術治療を受けていただけるよう取り組んでいきますのでよろしく願いいたします。



SPECIAL INTERVIEW 一当院における「3密」対策について 院長補佐 河崎 悟

新型コロナウイルス感染症の世界的流行によって地球規模で社会や生活に様々な変革が迫られ、さらにその変革は今後も継続的に必要とされています。病院もその例外ではなく、病院の業務や職員の働き方に様々な改革が求められました。特に、病院内では患者さんを含め多くの人々が近距離で接することが多く、院内での感染を防ぐためには、診療機能を低下させることなく院内での『3密』を回避することが重要な課題となりました。今回は、新型コロナウイルス流行によって求められた病院での『3密』対策の一例について紹介したいと思います。

『3密』対策の一つである外来での混雑の緩和とソーシャルディスタンスの確保についてです。昨年7月の新病院開院後、順調に外来患者数は増加していましたが、新型コロナウイルス流行前までは、外来の各ブロック待合では椅子に座りきれない人が発生するほど混雑していた状況でした。そこで、外来でのソーシャルディスタンスを確保するため、全診療科が参加する外来委員会を設立し、各時間帯での外来患者数・各ブロック待合での待機患者数・各診療科の予約状況を分析しました。その検討結果から、

- ① 外来ブロック受付を予約時間の30分前からと制限する。
- ② 外来ブロック待合の座席数を制限し、座席間隔を確保する。
- ③ 病院外来アプリの患者さんへの周知および使用推進を行う。
- ④ 外来ブロックで患者が集中しないよう各診療科の予約枠を調整する。

以上の方針としました。

特に、ブロック受付時間の制限は、ブロック受付で受付可能予約時間帯をサイネージ(図①)で表示するとともにブロック受付以外の待機場所の確保と利用を患者さんに案内させていただきました。また、ブロック待合の長椅子の座面にソーシャルディスタンスの確保をお願いする掲示(図②)を行い、座面数の削減・座面間隔の確保を患者さん



にお願ひさせていただきました。また、ブロック待合以外でも安心して待機していただけるように、待合番号通知アプリ(図③)の周知・利用推進を図りました。もちろん、患者さんの外来集中および待ち時間の短縮のために、各診療科外来予約状態を調査し、改善も行っております。なにより上記対策に対する当地域の皆さんのご理解とご協力のおかげで、

外来待合での混雑緩和を図ることが達成でき、ソーシャルディスタンスの確保が達成できたと考えております。しかし、今後も感染状況によってさらなる改革が必要となる可能性も高いと考えられます。診療機能を低下させることなく安全な診療を提供できるよう立ち止まらずに改革を続けていきます。当院の取り組みに対する地域の皆様のご理解とご協力を今後もよろしくお願いいたします。

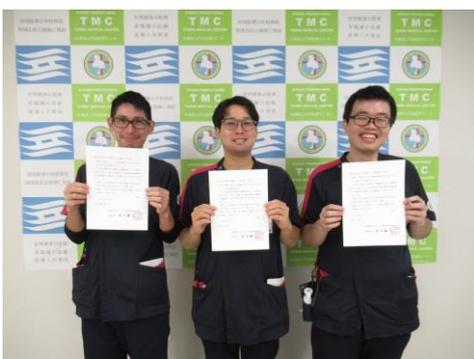


沖縄県立中部病院に支援に行きました

看護部：田中亮輔 藤村俊己 小林正

沖縄県は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い医療体制がひっ迫し、8月には沖縄県知事から全国知事会に看護師派遣の要請がありました。

兵庫、沖縄両県は、沖縄の本土復帰以来友愛県として交流を育んできています。強い絆で結ばれた兵庫県は、県立病院に勤務する看護師9名を派遣することとし、当センターから3名の看護師が8月27日～9月11日の2週間、沖縄県うるま市の沖縄県立中部病院に支援に行きました。



中部病院では、救命救急センターと循環器内科病棟、外科病棟に配属になりました。救命救急センターでは、1次(初期)救急から3次(高度)救急までの多種多様な疾患の患者が救急搬送され、状態の安定化に向けて処置や検査介助、患者搬送を主に担当しました。又病棟では、処置や検査介助、日常生活援助を担当し活動を行いました。

丹波医療センターで普段見かけない道具や物品が多く、体制や取り決めに戸惑うことも多くありましたが、働く場所が変わろうとも患者さんや家族を中心に安全・安心の医療を提供する事の重要性に改めて気付くことができ、充実した2週間でした。今回の派遣での経験や学びを大切にして、毎日の看護ケアを行っていききたいと思います。

《井戸敏三 兵庫県知事より感謝状が贈られました》



Doctor's Message

おかぞえ ゆうき

外科 岡副 佑城

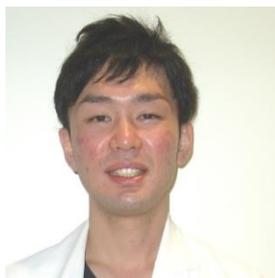
2017年からここ丹波でお世話になっています、外科専攻医の岡副 佑城（おかぞえ ゆうき）と申します。

奈良県出身、神戸大学卒業で、学生実習でお世話になったご縁でやってきました。

想像していた通り、教育的で暖かい指導医の先生方、活気ある若手、優しいコメディカルの方々、理解ある患者様方、そして豊かな自然に囲まれた、充実した日々を過ごさせて頂いています。

尊敬する上司との出会いや、実際に手術で良くなる患者様を診る中で、外科を選びました。特に外科に進んでからの日々は目紛しく過ぎ、気付けば4年目を迎えました。責任は重いですが、上司の先生のご指導の元、やりがいを感じながら外科診療を行えています。

医師・外科医としての一步目をこのような恵まれた環境で踏み出せたことに感謝し、今後も精進して参ります。



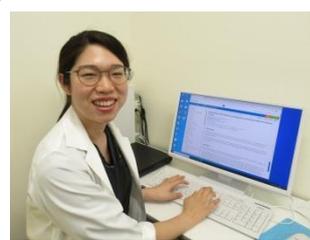
Doctor's Message

ふじかわ もえみ

内科 藤川 萌恵美

現在、丹波医療センターで総合診療の後期研修を行っています。2年間を初期研修医として県立柏原病院で

過ごし、1年間の他病院での勤務を経て、今年度より当院で後期研修医という立場で丹波の医療に携わるようになりました。蛍やコスモス、ぶどう狩りやスキーなど丹波での生活を満喫しています。さて、総合診療という言葉に馴染みのない方も多いかもかもしれません。どんな方にも対応出来るように内科全般的な診療に加えて、小児科や救急科での研修を行います。日常をより健康に過ごしていただけるよう、訪問診療やミルネ診療所での健診業務など、生活に根差した診療も行います。医療というと、救命がドラマなどでも取り上げられる事は多いですが、よりhappyに快適な日常のための手助けをしたいということを目指して日々取り組んでいます。まだまだ不慣れで手一杯で回りの方々にご迷惑をおかけしている状態ですが、少しでも丹波の医療に貢献できるように精進します。



TOPICS

感染対策部

感染管理認定看護師

柿原 朱美

新型コロナウイルス感染拡大により、私達の生活は大きく変わりました。新型コロナウイルスを含め、感染対策には『空調』『清潔な水』『ゾーニング（清潔区域と汚染区域とを明確にわけること）』による施設管理が重要です。私は院内の感染管理の専従として6年目になりますが、昨年の新病院開院に向けて、病院設備担当者と「室圧」「換気」「水質管理」を確認しました。また、外来や病棟の注射薬などを扱う清潔区域と廃棄物や器材を処理する汚染区域をゾーニングし、手指衛生設備を揃え、構造的に感染経路を遮断するように準備しました。新病院開院後は、病原体を「持ち込まない・持ち出さない・広げない」という人の行動が重要になります。当院では、先ず病原体を「持ち込まない」ために、患者さんの早期診断、手指衛生やマスク着用の強化、面会禁止の徹底に取り組んでいます。次に「持ち出さない・広げない」ために、外来では密接・密集を避ける工夫をしています。換気については1時間あたり2.5回全ての空気が入れ替わる設備となっています。医療従事者は、患者さんの感染症疑いの段階から病原体に応じた個人防護具を使用し、ケア毎の手指衛生を徹底しています。また、休憩時の飲食は対面でしない、会話はマスクを着用して行う、休憩時間を調整するなどの対策を行っています。

新型コロナウイルス感染症の終息はまだ先のようなようです。今後は冬期流行性感染症の流行も懸念されますが、病院もご家庭においても「持ち込まない・持ち出さない・広げない」を実践することの重要性は同じです。そして、自身の体内に病原体を侵入させない対策を行い、体の免疫を高めて、新型コロナウイルス感染症と冬期流行感染症を予防していきましょう。



地域の皆様のおかげで病院が綺麗になりました！



10月3日(土)に、丹波市自治会長会の皆様をはじめとした丹波地区のボランティアの方々、病院職員、総勢174名により、丹波医療センターの草刈りが行なわれました。皆さんの力で病院回りがスッキリと綺麗になりました。参加いただいた地域の方々には本当に感謝いたします。





▶▶▶ 薬剤部のご紹介



剤部では患者さんに安心して適切な薬物療法をうけていただくため、医薬品の適正使用の推進、患者サービスの向上、チーム医療の充実を3本柱として医薬品の有効性と安全性を確保し、適正な薬物療法を推進しています。

令和元年度より新設された入院前センターでは、薬剤師が服用薬を確認し、手術や検査前に中止すべき薬剤の鑑別と患者さんへの中止薬の説明を行っています。また、病棟には薬剤師が常駐し、入院患者さんへの服薬指導だけでなく、薬の用法用量、相互作用、副作用のチェック、カンファレンスへの参加、医療スタッフへの医薬品情報提供、医師への処方提案等も行っています。入院日には、手術や検査前の中止薬を適切に中止できているかの確認もしています。入院前から退院までのすべての過程で薬剤師が患者さんと関わることにより、安心して適切な薬物治療を提供できるよう日々取り組んでいます。



TOPICS



丹波警察署との協働による特殊詐欺防止に向けた取り組み

このたび、当院では丹波警察署からの申し出を受けて、県立病院では初となる特殊詐欺の防止を目指す活動を開始しました。外来患者さんが利用されるクリアフォルダーに「電話でお金!! それは詐欺!! 振り込む前に 110 番」とのキャッチコピーがプリントされた青色のシールを貼り、特殊詐欺の防止を呼びかけています。

当院は丹波圏域の中核病院として、住民の命と健康を守ることは当然ですが、さらに地域への貢献のための「情報発信の場」でなければならないと考えているところで。警察との協働をきっかけに、今まで以上に「住民のための開かれた病院」を目指して職員一同で取り組みますので、ご支援をよろしくお願いいたします。

電話でお金!!



それは詐欺!!

振り込む前に

110番

丹波医療センター
兵庫県丹波警察署
0795-72-0110



がん相談支援センター に、ご相談ください

がんになっても、そうでなくても「がん」に関するいろいろな相談をおうかがいします。がん専門相談員（看護師）がご相談に応じます。

※相談費用は無料 ※秘密は厳守いたします ※当院受診の有無に関わらず利用可能



「がん相談」
とお伝え
ください

開設日・時間 月～金（祝日を除く）9時～17時（受付は16時まで）
連絡先 兵庫県立丹波医療センター がん相談支援センター TEL0795-88-5200(代)



facebook 始めました*

「いいね！」お待ちしております♪



外来診療担当表 (令和2年11月)

診療科 \ 曜日		月	火	水	木	金	備考
内科	一般・初診	藤井 康和 上田 康雅	石田 達郎 杉本 龍	見坂 恒明 合田 建 田村 証司	森 寛行	見坂 恒明 水谷 直也 塚本 祥太	◎ 二次精密検査は、一次健康診断結果票をご持参ください。
	専門(初・再診)	河崎 悟 西崎 朗	新倉 悠人 早島 正彦	近藤 健介 佐藤 悠	柿崎 俊介 西崎 朗	板倉 崇泰 野村 雄大	
	予約再診	森 寛行	第1・3 午後 河崎 悟	藤井 康和	藤井 康和	田中 健雄	◎ 次回の再診予約のあった患者さんのみ
	こころと記憶の診療科	射場 亜希子			第2・4 荒井 克純		◎ 第2・4月曜 午後のみ・予約診察のみ
	呼吸器 不整脈・ペースメーカー	桂田 雅大	小林 和幸 桂田 雅大(腫瘍) 第2・4 午後 河崎 悟			西村 善博(第2・3) 桂田 雅大(第1・4)	
	糖尿病		藤田 泰功		岩橋 泰幸 第4 14時~ 大橋 紳一郎		
	緩和ケア/化学療法 がん治療支援	板倉 崇泰 板倉 崇泰	板倉 崇泰 板倉 崇泰	板倉 崇泰 板倉 崇泰	板倉 崇泰 板倉 崇泰	午後 (緩和ケア) 板倉 崇泰 板倉 崇泰	◎ 緩和ケア：院内がん相談支援センターで予約された患者さんのみ
	脳神経内科 腫瘍・血液内科 膠原病 リウマチ内 肝臓 禁煙・睡眠無呼吸		北尾 章人	関口 兼司	水谷 優 第1・3・5 河野 誠司 上田 佳秀	一瀬 良英(第1・3・5) 三枝 淳(第2・4)	
	第1・3 午後 星島 正彦				午後 星島 正彦		
	小児科	1 診 2 診 3 診 専門外来(予約)	井上 真太郎 北角 英晶 藤川 萌恵美 第2・4 内分泌 坊 亮輔 第1・3 神経 山口 宏 担当医 (予防接種)	高藤 哲 岡本 光宏 原田 晋二 井上 真太郎 (夜尿症・循環器) 酒井 國安 (アレルギ二疾患) 担当医 (1ヶ月健診)	北角 英晶 高藤 哲 加藤 神奈 (発達) 原田 晋二 北角 英晶 担当医 (乳児健診)	岡本 光宏 藤川 萌恵美 原田 晋二 岡本 光宏 高藤 哲	
外科	一般・消化器 乳腺外科	美田 良保 岸 淳彦	鈴木 知志	藤田 恒憲 岡副 佑城 岸 淳彦	坂本 浩輝 大野 伯和 小泉 宣 岸 淳彦		
整形外科		上本 晴信	芝 昌彦 小西 赳広 上本 晴信 (予約のみ)	上本 晴信	芝 昌彦 小西 赳広 上本 晴信 (予約のみ)	◎ 金曜 芝医師は初診のみ	
リハビリテーション科		上本 晴信	芝 昌彦	上本 晴信	芝 昌彦	◎ リハビリ訓練(要予約)は毎日実施	
脳神経外科			10時~ 頃末 和良	飯田 倫子	14時~ 田村 昌吾	◎ 木曜 受付時間 12:30~15:00 診療時間 14:00~16:00	
皮膚科			林 ちさ	村田 洋三	中野 英司 村田 洋三	◎ 診療開始時刻 林医師 9:30~	
泌尿器科		吉村 光司	山崎 隆文	吉村 光司	山崎 隆文	◎ 受付時間 月~木曜 11:00まで 金曜 10:30まで	
産婦人科	1 診 2 診 周産期	丸尾 原義 出口 雅士	望月 慎介 中村 昌平 担当医	武田 晃子 望月 慎介	鈴木 美奈子 丸尾 原義	◎ 午後のみ・予約診察のみ	
眼科		9時30分~ 棚瀬 真希子	金光 聖隆	第1・2・4・5 金光 聖隆 第3 菅澤 淳	金光 聖隆 岩根 友佳子 岩根 友佳子 午後 林 一	◎ 診療開始時刻 棚瀬医師・林医師 9:30~ ◎ 林医師は予約診察のみ	
耳鼻咽喉科		小松 弘和 柳沢 俊学	小松 弘和	第2・4 小松 弘和	柿木 章伸 柳沢 俊学 11時~ 小松 弘和	◎ 月曜 受付時間 11:00まで 午後手術日のため救急対応不可	
放射線科	一般 リニアック	楠 直明 関 紳一郎 山本 雄也	楠 直明 関 紳一郎 山本 雄也	楠 直明 関 紳一郎 山本 雄也	楠 直明 関 紳一郎 山本 雄也	◎ 予約診察のみ	
歯科口腔外科		竹内 純一郎 寺岡 駿	竹内 純一郎 寺岡 駿	竹内 純一郎 寺岡 駿	竹内 純一郎 寺岡 駿	◎ 他医療機関等からの紹介患者および障害者 (要介護の方を含む)のみ	

編集後記

澄み切った秋空が清々しい季節となり、コンサート、旅行にと行きたいところですがコロナ渦ではそういきません。今まで当たり前で過ごしていた日常がいつもどおりにいかない日々が続いています。インフルエンザと新型コロナウイルスとの同時流行が懸念される中、当センターでは引き続き院内感染防止のため、入院患者さんへの面会を全面禁止とさせていただいておりますのでご了承下さい。今後ともよろしくお願いたします。 放射線科 中島宏樹

